



この号は、宮津天橋高校ホームページ限定号です。たくさんの建築科の取組を建築通信で紹介できないため、ホームページのみの特別号を発行しました。

2年生 プロから学ぶ出前講座

(株)竹中工務店「なにわ出前塾」～設計・デザインを学ぶ～

12月2日(火)、(株)竹中工務店大阪本店設計部から7名の方を講師としてお招きし、「なにわ出前塾」を実施しました。

この出前講座は、建築科2年生がグループに分かれて実際に建築設計に携わられているプロの方から設計の手法を学ぶ特別実習です。

テーマに基づいて班ごとにアイデアを出し合い、講師の先生と相談しながら模型を製作し、最後には班ごとにプレゼンテーションも実施しました。

同じテーマでも班ごとに様々なアイデアや建物の形になり、実際の設計の計画からプレゼンテーションの一連作業を体験する良い機会となりました。



鉄筋組立実習 ～国家資格を目指して～

11月13日(木)、京都府鉄筋業組合から講師をお招きし、2年生対象の鉄筋組立実習を実施しました。

国家資格である鉄筋組立の技能検定を受検する生徒も複数おり、プロの方から直接指導してもらえるということで、生徒たちも積極的に技能を習得しようと取り組んでいました。特に就職希望の生徒たちは、実際に職人の方の仕事ぶりを見て自らの進路を考える良いきっかけとなりました。



約100種類の木を学ぶ ～木の長所を活かした適材適所～

12月15日(月)、(有)岩井木材より岩井清健様をお招きし、木材についての講義をしていただきました。普段、授業で使用している杉や檜をはじめ世界や日本の木材の種類や樹種の特徴について話をいただきました。実際に約100種類近い様々な樹種の見本を持ってきていただき、生徒たちはその質感やにおいを感じていました。

最後に3つの木材の樹種を当てるクイズをしていただき、正解者には木製コースターをプレゼントしていただきました。



ちりめんパネル製作 ～先輩から受け継いだ4期目～

丹後織物工業組合から製作依頼された「ちりめんパネル」の製作を建築科3年生匠コースを中心に全員で行いました。

この取組は、今年度で4期目となり、卒業した先輩が製作・設置してきた取組を引き継いで、今年度もパネル18枚を製作しました。

1月30日(金)に現地で設置作業を行う予定でしたが、大雪による臨時休業のため延期となりました。そのため、設置作業は3月に1年生が行う予定です。

1年生は木工の基礎を実習で学んだばかりですが、その技術を活かして、今回初めての校外での現地作業となります。



1年生 次のステップへ!

CAD実習～建物を3Dで作図～

12月24日、25日の冬季講習で、1年生のCAD実習を行いました。(株)福井コンピュータアーキテクトより2名の方に講師として来校していただき、建築専用CADを用いた設計の作図を行いました。

一番の特徴は、2Dの建物を3Dで可視化でき、簡単な操作で設計に必要な図面を作図できることです。

今回は簡単な建物での作図でしたが、自分で設計した建物を作図し、コンペ等で応募できるように活用してもらいたいです。



透視図実技研修～プロから学ぶ建築パース着色術～

12月22日(月)に建築科卒業生でもある松山 義宗様を講師としてお招きし、透視図の着色技術について実技指導していただきました。

美術の絵画とは異なる着色方法は初めてで、プロの見本と比較して難しさを実感しながらも色鮮やかな作品を完成させることができました。

最後に自身のキャリアや建築を学ぶ上で必要なことなどを話していただきました。

プロの方からの実技指導していただける貴重な機会となり、今後の作品制作により刺激になりました。



木造耐力壁実験～どの壁が一番強い?～

12月8日(月)京都府建築士会から高橋 勝様と高橋完実様をお招きし、木造耐力壁の強度実験を行っていただきました。

6種類の構法で実験模型を作り、壊れるまで荷重をかけて変形や破壊性状等を観察しました。

座学でも建築構法について学んでいますが、実際に模型を使って実験をすることで構法の違いや力のかかり方の理解が深まりました。



林業・木材研修会～授業で使う木材ができるまで～

11月25日(火)京都府丹後広域振興局の御協力のもと、林業・木材に関する研修会を実施しました。

里山での間伐作業の見学、製材所での製材工程の見学、さらに植林体験と、1日を通して木材がどのように生まれ、使われていくのかを総合的に学ぶことができました。

普段の実習で扱っている木材の背景を実際に体験的に理解でき、今後の学びに大きくつながる貴重な機会となりました。

